

KUBIC 受賞報告

第 16 期生 土谷 鈴

◆KUBIC とは...?

KUBIC とは、関西大学が主催する、「学生の力」をキャッチ・フレーズとした、若い力を発信するためのビジネスプラン・コンペティションです。この KUBIC には、企業から指定されたテーマに沿ったビジネスプランを応募する、企業テーマ部門



と、自由な発想で考えたビジネスプランを応募する、自由応募部門が設けられています。また、企業から指定されたテーマに沿ったビジネスプランであっても、予算計画書を作成すれば、そのプランを企業テーマ部門と自由応募部門の双方に応募することが可能です。

私たち 16 期生有志は、3 つのチームに分かれ、企業テーマ部門のみに応募する 1 案と、企業テーマ部門と自由応募部門の双方に応募する 2 案を考案し、後者の内の 1 案が、450 を超えるビジネスプラン案の中から厳正な審査を経て、企業賞を受賞致しました。以下は、受賞チームのレポートです。

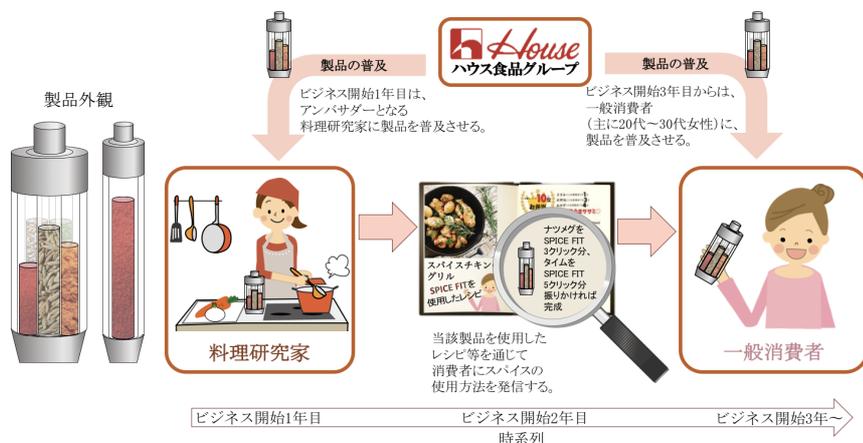
◆プランの概要

・出題企業：ハウス食品

出題テーマ：スパイスに関する新事業の提案

提案プラン：SPICE FIT ——スパイスをもっと手軽にもっと楽しく——

私たちが提案したビジネスプランは、インクをカスタマイズできる多色ボールペンに着想を得て、本体にスパイスのカートリッジを 1~5 本選んでセットし、上部のボタンをクリックすると、スパイスを少量



提出用資料のビジネスイメージ図

ずつ、一定量使用できる製品を発売するというものです。本ビジネスの最終目的は、家庭にスパイスを普

及することです。スパイスは、その認知度に比して、使用経験率が低いことが分かっています。また、一般消費者がスパイスの使用に至らない最大の要因は、使用法の煩雑さや、魅力の不明瞭さであるとされています。それらを克服するためには、スパイスの使用に対する知識とスキルの蓄積が必要です。そこで、当製品のアンバサダーとして、SNS を積極的に利用する料理研究家を活用し、一般消費者に、スパイスの使用法や魅力を伝達してもらうことを提案しました。具体的には、まず、料理研究家に、本製品のメリットである、クリック数毎に味を微調整し、自分好みにスパイスを調合することができることを体感してもらいます。その上で、彼らに、本製品を使用したレシピを発信してもらいます。本製品を使用したレシピには、スパイスの使用量がクリック数で表記されているため、一般消費者は、手軽に楽しく、スパイスを使用した料理作りに挑戦することができるようになるのです。

◆受賞後記

小野ゼミに入会することが決まった3月半ば、この頃から私は、どのようなプランを提案するかについて、思案に暮れていました。しかし、一からプランを考案することは難しく、本ゼミでの KUBIC プラン案発表の前日になってもプランが思いつきません。途方に暮れて1人三田駅のホームを歩いていた時、突如、スパイスとカスタマイズできるボールペンを組み合わせた「SPICE FIT」というプランが閃きました。当初このプランは、単なる製品開発に近いものであり、ビジネスを呼べるようなものではありませんでした。しかし、第16期の北嶋とチームを結成し、小野先生をはじめ、先輩方や同期からたくさんのアドバイスをいただいた結果、企業賞を受賞するプランにまで成長させることができました。

表彰式当日は、お忙しい中、小野先生も会場に足を運んでくださりました。本プランを作成するにあたり、たくさんのご尽力をいただいた小野先生の前で受賞することができ、本当に嬉しかったです。また、授賞式の後に開催された懇親会では、5月のインカレディベートでお会いした第5期OBの千葉先生、第7期OG 菊盛先生、菊盛ゼミ生の方々に久々に再会することができ、小野ゼミファミリーで盛り上がることができました。少々ワインがぶちまけられる事件等発生しましたが、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

最後になりましたが、改めて、この案を作成するにあたってご尽力いただいた小野先生、大学院生の皆様、第15期生の先輩方、そして同期のみんな、本当にありがとうございました。



表彰式の様子